

2019 年度 事務事業評価(2018年度実施事業事後評価)シート / 2020 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	077									
事務事業名	石下地区流域関連公共下水道整備事業費				補助区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input type="checkbox"/> 市単	終期	<input checked="" type="checkbox"/> 決まっている (2023 年度まで) <input type="checkbox"/> 決まっていない		予算科目	区分	公共下水道事業特別会計	款	01	項	01	目	04	事業	02
担当部	都市建設部	担当課	下水道課		担当係	工務係		係												
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称 : 常総市都市計画マスタープラン、常総市北部公共下水道全体計画、利根川流域下水道整備総合計画)				根拠法令及び市条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称 : 下水道法、都市計画法) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称 :) <input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則 (名称 :)														

2 事務事業の目的		①「望ましい状態」とはどのような状態か？ → ②一方で、「現状や課題」はどうか？ → ③そのためには何をすべきか？ という過程で考えていただいても結構です。	
現状課題	2018年度末の整備率は、計画区域面積293.9haに対し、整備済区域面積187.9haにより63.9%である。現在、新石下地区の面整備及び常総IC周辺開発地区からの幹線管渠整備を進めている。既策定の下水道全体計画に定めた整備計画区域を全て施工するには、今後も莫大な予算と相当な年数を要することから、2016年度に実施された「茨城県生活排水ベストプラン」の改定時には、整備計画区域を見直し大幅に縮小した経緯があるため、今後、下水道全体計画の見直し時に当該ベストプランを反映する予定である。	誰・何を対象に	全体計画区域内の下水道事業計画区域(認可区域)
		どのような方法・手順で	汚水管渠の整備を行い、各家庭に公共汚水ますを設置し汚水流入を可能にする。都市計画法及び下水道法に基づく事業認可期間については、随時延伸する。
		望ましい状態	都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域(鬼怒川、利根川)の水質保全をはかる。

3 事務事業の主たる成果指標										数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。									
指標名	処理区域面積	単位	ha	目標値	294	目標年次	2023	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	事業認可で定めた計画区域面積を目標値とした。									

4 事務事業の実績 ①										当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。																				
年度	2016年度				2017年度				2018年度																					
	業務名	活動量	業務名	活動量	業務名	活動量	業務名	活動量																						
事務事業を構成する主な業務	① 事業の計画	1回	① 事業の計画	1回	① 事業の計画	1回	① 事業の計画	1回																						
	② 補助・起債申請	2回	② 補助・起債申請	2回	② 補助・起債申請	2回	② 補助・起債申請	2回																						
	③ 工事の管理・監督	3件	③ 工事の管理・監督	4件	③ 工事の管理・監督	4件	③ 工事の管理・監督	6件																						
	④ 委託業務の管理・監督	2件	④ 委託業務の管理・監督	4件	④ 委託業務の管理・監督	2件	④ 委託業務の管理・監督	2件																						
	⑤		⑤		⑤ 工事説明会	1回																								
	⑥		⑥		⑥																									
	⑦		⑦		⑦																									
	⑧		⑧		⑧																									
	⑨		⑨		⑨																									
	⑩		⑩		⑩																									
	⑪		⑪		⑪																									
	⑫		⑫		⑫																									
目標値に対する実績値		175	ha	目標値に対する実績値		177	ha	目標値に対する実績値		188	ha																			
決算額	計	93,675,458	円	内訳	特定財源	88,745,800	円	一般財源	4,929,658	円	計	176,158,793	円	内訳	特定財源	166,810,000	円	一般財源	9,348,793	円	計	412,492,099	円	内訳	特定財源	390,978,000	円	一般財源	21,514,099	円
		(住民一人あたりの行政コスト)		1,540		円	(住民一人あたりの行政コスト)		2,914		円	(住民一人あたりの行政コスト)		6,875		円														

5 担当者評価 ②		実施したことによる成果や問題点を記入してください。	
成果	目標どおり	成果内容	事業認可期限の2023年度に向け、計画どおり事業を進めている。
問題点			市街化区域内の未整備区域の整備は喫緊の課題と考える。当整備事業費を推進するにあたり、監督係員の増員が必要である。

6 担当部長及び担当課長評価 ③		担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。	
事務事業の方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
評価理由	平成28年度に策定したアクションプランにのっとり、下水道計画区域の未整備地区の早期整備が必要である。単年度内での工事完了を目指すためには、工事範囲・規模を適切に細分し、小規模にして多数業者による同時施工で実施する必要がある。そのためには、監督・指導を行う職員の増員及び技術力強化が必須である。		

7 実施計画 ④										今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。									
年度	2019年度				2020年度				2021年度										
事業内容	●常総IC関連幹線管渠布設工事 開削(圧送φ250mm*2条) L=2,054m ●工事積算資料作成業務 ●工事施工監理業務 推進(さや管φ400mm*2条) L=86m				●工事説明会 ●面整備工事 開削(PRPφ200mm) L=1,700m ●マンホールポンプ設置工事 N=2箇所 ●工事積算資料作成業務 ●工事施工監理業務 ●流域関連公共下水道面整備実施設計業務				●工事説明会 ●面整備工事 開削(PRPφ200mm) L=2,200m 推進(φ200mm) L=100m ●工事積算資料作成業務 ●工事施工監理業務										
	成果指標	指標名	処理区域面積	単位	ha	目標値	200	指標名	処理区域面積	単位	ha	目標値	204	指標名	処理区域面積	単位	ha	目標値	209
予算額	歳出	計	646,395		千円	歳出	計	356,395		千円	歳出	計	355,595		千円				
		特定財源	613,700		千円		特定財源	338,100		千円		特定財源	337,400		千円				
	歳入	一般財源	32,695		千円	歳入	一般財源	18,295		千円	歳入	一般財源	18,195		千円				
		計	646,395		千円		計	356,395		千円		計	355,595		千円				

8 財務アドバイザーの見解	
『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については本実施計画の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。	

9 行政改革懇談会(市民)の意見	
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。単年度内での工事完了に努め、下水道地区同様の水準並みに整備されたい。	

10 最終評価(行政改革推進本部) ⑤	
事務事業の方向性	
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
評価理由	都市の健全な発展及び公衆衛生の向上と河川の水質保全を図るため未整備地区の早期整備に努めること。

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ⑥		実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。	
事業内容			